

資 料 説 明

◆協議事項（１）令和３年度事業報告について

○各児童館の年間目標等【１～６ ページ】

年間目標については、全館共通事項として「親子の関わりが豊かになるような遊びや活動の提共」を始め３つの目標を掲げております。

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、休館措置が解除されてからも行事を自粛していたこと、また再開後も密にならないように人数や時間の制限を設けるなど、当初の計画から内容を修正せざるを得ませんでした。各児童館における乳幼児及び小学生事業の活動内容と、その活動の中で得られた課題や反省をもとに、次年度へ向けての方針を検討していくという流れでそれぞれ記載をしております。

○令和３年度年間行事一覧表等【７～３６ ページ】

７～２４ ページでは、児童館ごとに幼児と小学生の行事を一覧表としてまとめ、それぞれ事業のねらい及び事業内容を記載、また重点をおく項目の欄に○印を付しております。右端には、参加人数を記載しておりますが、コロナ禍で中止とした行事には「－」を記載しています。

２５～３６ ページでは、各児童館の行事の中から、幼児と小学生の行事について具体的な活動内容等をシートにまとめたものを１つずつ例示しております。

◆協議事項（２）令和４年度事業計画（案）について

○令和４年度児童館事業計画（案）【３７ ページ】

全児童館での幼児と小学生の年間行事予定を一覧にしてあります。なお、行事の回数欄を網掛けとしているところは、１日に複数回実施をしているため、延べ回数を記載しております。

○令和４年度年間行事一覧表【３８～５５ ページ】

児童館ごとに幼児と小学生の行事を一覧表としてまとめ、それぞれ事業のねらい及び事業内容を記載、また重点をおく項目の欄に○印を付しております。

以下、各児童館の事業方針となります。

〈七宝児童館〉

今年度は感染対策にも気を付けながら、たくさんの人に来館してほしいという思いから、大きな行事は来館時間を分散して取り組んできました。来年度も利用者が安心して遊べる環境作りに努めていきます。

子どもや保護者の意見にも耳を傾けていき、今年度好評だったものを取り入れたり、日本の踊りを取り入れた行事など、新たな取り組みにも挑戦していきます。

引き続き、子どもや保護者の話し相手となりながら、いつ来てもホッと出来る気軽に寄れる児童館を目指していきたいと考えております。

〈美和児童館〉

児童館の事業として、様々な行事を開催する中で感染症対策として、昨年度は意識的に関わりを少なくしましたが、今年度はあらゆる方法を講じながら、友達や親子で触れ合う機会の提供をしてきました。小学生行事においては、様々な物・技法を用いて、普段経験しづらいような体験を採り入れ、新しい気づきや経験につながるようにしてきました。

また、普段の利用状況で、利用者が多いことから乳幼児と小学生と一緒に館内で遊ぶ際に危険が及ぶ場面もあるので、利用者全体が安心して遊べる来館できる環境作りを考えていく必要があります。

来年度は、より子どもが主体となって児童館の行事を進め、参加できる環境を増やしていきたいと考えている。

〈甚目寺中央児童館〉

今年度はたくさんの来館者が安心して利用できるよう、消毒の徹底や事業の少人数参加など感染対策を考慮しながら事業を行ってきました。乳幼児事業では、日本の風習や年中行事の絵本や紙芝居を積極的に読み、絵本の貸し出しもアピールしました。保護者に児童館事業に興味関心を持ってもらえるよう来年度も同様に進めていきます。

小学生行事では、子ども達が個々を大切にしながらみんなで楽しめることを意識して事業を行いました。来年度も感染対策を十分行い、友達と一緒に関わって遊べたり経験したりできるように事業を進めていきます。

また、今年度は多くの市民に児童館を知ってもらえるよう、小中学生を対象に、児童館だよりを地区内の学校や施設に掲示を依頼しました。来年度も掲示を依頼し、児童館がどんなところかを知らせ、引き続き「児童館へ行ってみよう！」という気持ちを持たせたいと考えています。

〈甚目寺南児童館〉

来年度の乳幼児の行事は、月齢に合わせた紙芝居やパネルシアターなどを用意し、集中時間が長くなっていけるよう工夫していきます。

また、子育て世代にたくさん利用していただくため、保護者がいかに気軽に利用できるかを考え、育児相談や心配ごと相談も気軽にできるように努めます。そして、ママ友をつくり、親同士、子ども同士が、共に語り合い、遊びあい、高めあえるような環境にし、居やすい場所にできるように努めていきます。

小学生事業においては、製作のみではなく楽しめるゲームなどを取り入れていき、強制的に参加せず興味を持てる行事を考えていきます。

さらに小中学生の心の拠り所、ほっとする居場所にできるような児童館でありたいので、子どもの気持ちを受け止め自由な遊びを見守っていきます。

〈甚目寺北児童館〉

来年度も引き続き、遊びを通して健全育成を図り、安全で皆（どの年齢も）が安心して遊びに来ることができる環境作りを引き続き行っていきます。複合施設でもあるので、控えていた異世代交流（老人とこども・小学生と乳幼児等）も感染状況を見ながら取り入れていきます。

子の自発的な気持ちや行動を大切に、行事を進めていきます。また、お土産も楽しみですが、「物より思い出」として物に頼らない遊びや、前年度好評だった製作のバージョンアップしたものや新たな企画を、周知の仕方を工夫して仕掛けていきます。そのために研修や他施設やスタッフ同士で情報を共有したりし、レベルアップに努めます。また、コロナ禍に限らず児童館について発信する手段を、今後も増やしていかなければと思っています。

スペースに限りがあるので、単に来館者数を増やすだけではなく「今後もやりたい」「児童館へ行くと楽しいことがあった」「困っていたが安心できた」等の来館者の満足度・安心度を増やし、児童館へ来ても来なくても落ち着いて過ごすことができる親子や児童を増やすことを目標とします。そして遊びたい時や困った時には「そうだ児童館へいこう」という存在でありたいと考えます。

〈甚目寺西児童館〉

乳幼児事業では、子ども・保護者がたくさん笑い、身体を動かして元気になれるように、人気のある「運動あそび」で、平均台・トンネル・トランポリンを使ったサーキット遊びのほかに、ボール遊びやフープを使った遊びを取り入れていきます。

児童館を子育ての情報交換・親子の友だち作りの場・遊びの場として、利用者に寄り添った子育て支援を行いたいと考えております。

小学生行事では、R3 年度に子どもから人気だったゲームや、伝承遊びを取り入れて進めていきます。小学生・中学生の児童館利用者がより増やせるように、児童厚生員が利用者の気持ちに寄り添い、心が落ち着く居心地が良い場所になるように努めていきます。

◆協議事項（3）その他

○令和3年度あま市児童館利用状況【56 ページ】

各児童館の利用人数を記載しております。行事参加者数は内訳で記載してございます。これは、児童館利用者のみの人数を明確にするためです。各児童館の総人数からクラブ利用者と行事参加者（内児童館利用者）を引いた数字です。（内クラブ利用者）を同時に引くと表中の「クラブ利用者」とダブルカウントになり、人数に誤差が出るからです。

○児童館だより

○あま市児童館運営委員会規則

参考として、各児童館における次月の児童館だよりとあま市児童館運営委員会規則を同封しております。